

教科 芸術 科

科目	実用書道	学年・コース	3 学年	進学・地域・情報	コース	単位数	2 単位	区分	選択	
学習の目標		書道の幅広い活動を通じて、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。								
教科書										
補助教材等		日本書写技能検定協会「硬筆書写技能検定3級のドリル」								
学期	月	学習内容				学習のねらい			時間	
1 学期	4	日本書写技能検定 硬筆3級ドリル 実技問題				<ul style="list-style-type: none"> ・書の表現や技能を向上させる。 ・硬筆検定3級合格を目指す。 ・多様な形式や空間における書の表現を通して書のよさや美しさを感じさせる。 ・意図に基づいて創造的に書の表現を工夫させる。 	4	4	4	
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・速書き（115字） ・楷書と行書（各10字）ますめ ・縦書き 漢字仮名交じり文（45字） （漢字は行書、仮名は連綿しない） ・横書き 漢字仮名交じり文（60字） （片仮名、ローマ字、アラビア数字） 								
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・はがきの宛名書き（暑中見舞） 								6
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示 横書き（数行） 								3
2 学期	8	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙縦書き ・手紙横書き 				<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会にある書の鑑賞を通して、「伝達」から「表現」までの多様な表現効果を理解させる。 ・漢字やひらがなの成り立ちを理解し、線質・字形・構成等の書表現を工夫して行わせる。 	5	5	6	
	9	理論問題								
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の部分の名称（部首） ・漢字の筆順（楷書） ・草書を読む（文の中で） ・漢字の字体 ・ひらがなの字源 								3
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・草書を読む（文の中で） ・漢字の字体 ・ひらがなの字源 								3
3 学期	12	書写技能検定 のし袋				<ul style="list-style-type: none"> ・書の伝統と文化を尊重し、書の表現を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。 	8	3	3	
	1	今年の漢字 <ul style="list-style-type: none"> ・書初め（カレンダーやうちわ） ・今年の一字 暮らしの中の書 <ul style="list-style-type: none"> ・感謝の手紙（筆ペン、便箋・封筒） 								2
評価の観点	知識・技能		<ul style="list-style-type: none"> ・創造的な書道の表現をするために必要な技能を身に付けているか。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、表しているか。 							
	思考・判断・表現		<ul style="list-style-type: none"> ・造形的な良さや美しさを考えているか。表現の意図があるか。 ・創造的な工夫をしているか。発想力、構想力があるか。 							
	主体的に学習に取り組む態度		<ul style="list-style-type: none"> ・書道や書の文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の活動に取り組んでいるか。 ・用意や後片付けまで責任を持ってきちんと行っているか。 							